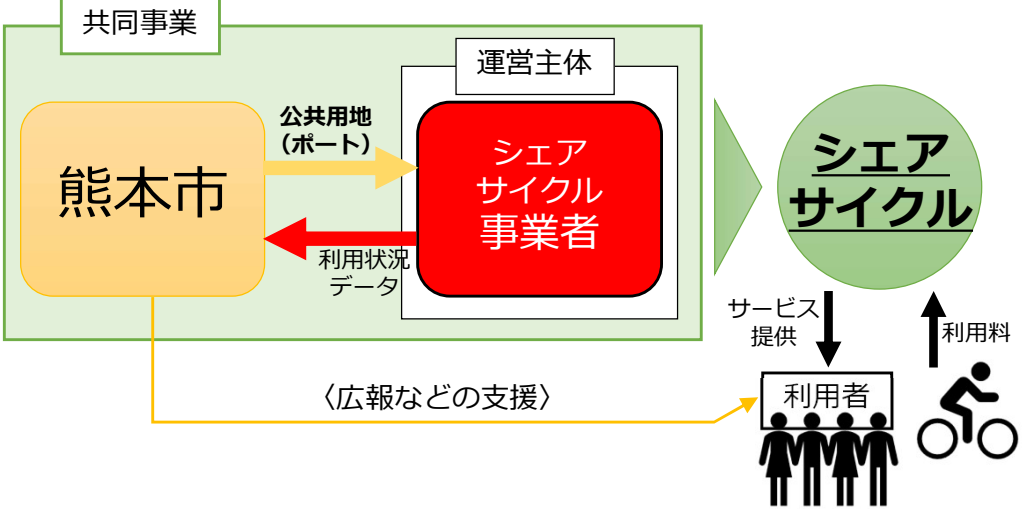


① 目的・実施体制

- 1) 実証実験の目的
 - ・利用状況を踏まえ事業採算性を判断
 - ・中心市街地の回遊性向上や自転車利用推進等の事業効果を検証
 - ・その他、運営上の課題を把握

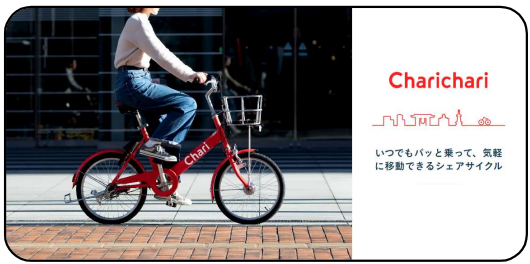
- 2) 実施体制
 - ・熊本市とシェアサイクル事業者による共同事業
 - ・ポートの設置、管理等、運営は費用も含め事業者負担
 - ・市は公共用地（ポート）の提供、広報等により支援

▼実施体制のイメージ



- 3) シェアサイクル事業者
 - ・公募により、neuet(株) を事業予定者に決定。
※neuet(株)は東京、名古屋、福岡などでシェアサイクルサービス「チャリチャリ」を運営している。

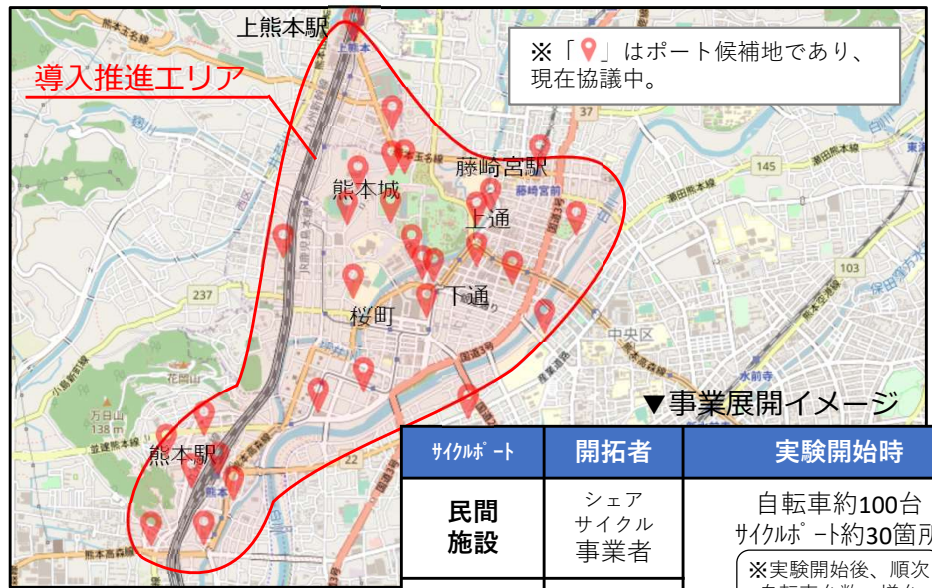
▼チャリチャリのHP抜粋



② 実施概要

- 1) 自転車及びサイクルポート設置展開
 - ・導入推進エリア内に自転車約100台、サイクルポート約30箇所を設置し、順次拡充を予定。

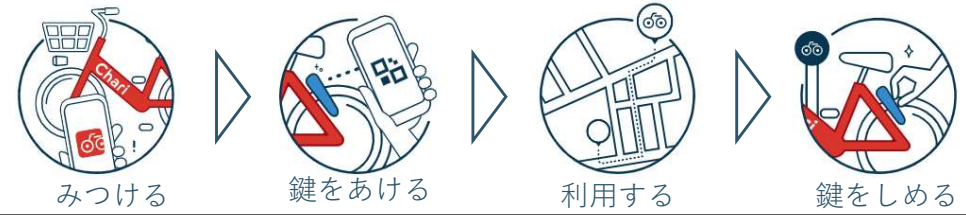
▼シェアサイクル導入推進エリア



▼事業展開イメージ

サイクルポート	開拓者	実験開始時
民間施設	シェアサイクル事業者	自転車約100台 サイクルポート約30箇所 ※実験開始後、順次自転車台数 増台 サイクルポート 増設を予定
公共施設	熊本市	

- 2) 利用方法等
 - ・24時間利用可能
 - ・スマートフォンで自転車の利用手続き、料金決済が可能。
 - ・料金設定は、普通自転車は料金6円/分、電動アシスト車は15円/分。
 - ・駐輪ポートは無人で、どのポートでも返却可能。



③ スケジュール

- ・令和4年4月から実証実験開始を予定。
- ・2年間（令和6年3月末日まで）継続して実施、本格運用の是非を判断。